

トルコの金融市場動向 Weekly Report

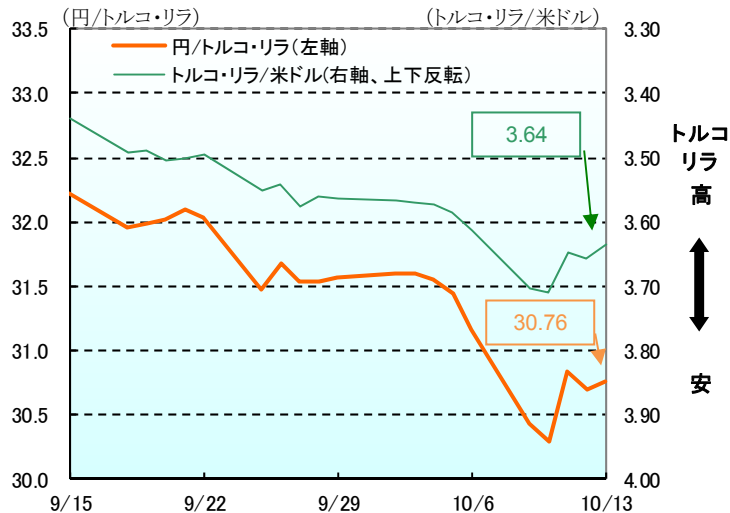
【2017年10月7日～2017年10月13日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。またトルコの2年国債金利については、金利上昇となりました。

10月8日(現地)に、トルコと米国が互いにビザ(査証)発給業務を停止するなど、対米関係の悪化が懸念されたことから、通貨、債券ともに軟調な推移となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年9月15日～2017年10月13日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は特段重要な経済指標の発表は予定されていません。引き続き、トルコと米国の関係に注目が集まりやすい環境が続くと考えます。中東における対IS(イスラム国)作戦やロシアとの関係を考慮すれば、米国がトルコとの関係をさらに悪化させることは望んでいないと考えられます。

また、足元ではイラク政府がイラク北部のクルド人支配地域に進軍し、武力衝突が起こった模様で、クルド人自治区をめぐる地政学リスクの動向に関しても注意が必要な環境が続くと考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年9月15日～2017年10月13日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>